

デジタルカメラ「Xシリーズ」用交換レンズ 開発ロードマップの最新情報を公開
高性能レンズのラインアップをさらに拡充し、超広角から超望遠まであらゆる撮影領域をサポート

2017年9月7日

富士フイルム株式会社（社長：助野 健児）は、独自の色再現技術で卓越した写真画質を実現するデジタルカメラ「Xシリーズ」用交換レンズの開発ロードマップの最新情報を公開します。今回の開発ロードマップでは、ラインアップへ加える予定の「超広角ズームレンズ」と「望遠単焦点レンズ」の基本スペックを発表します。

< 今回基本スペックを公開するレンズ >

① 超広角ズームレンズ「フジノンレンズ XF8-16mmF2.8 R LM WR」

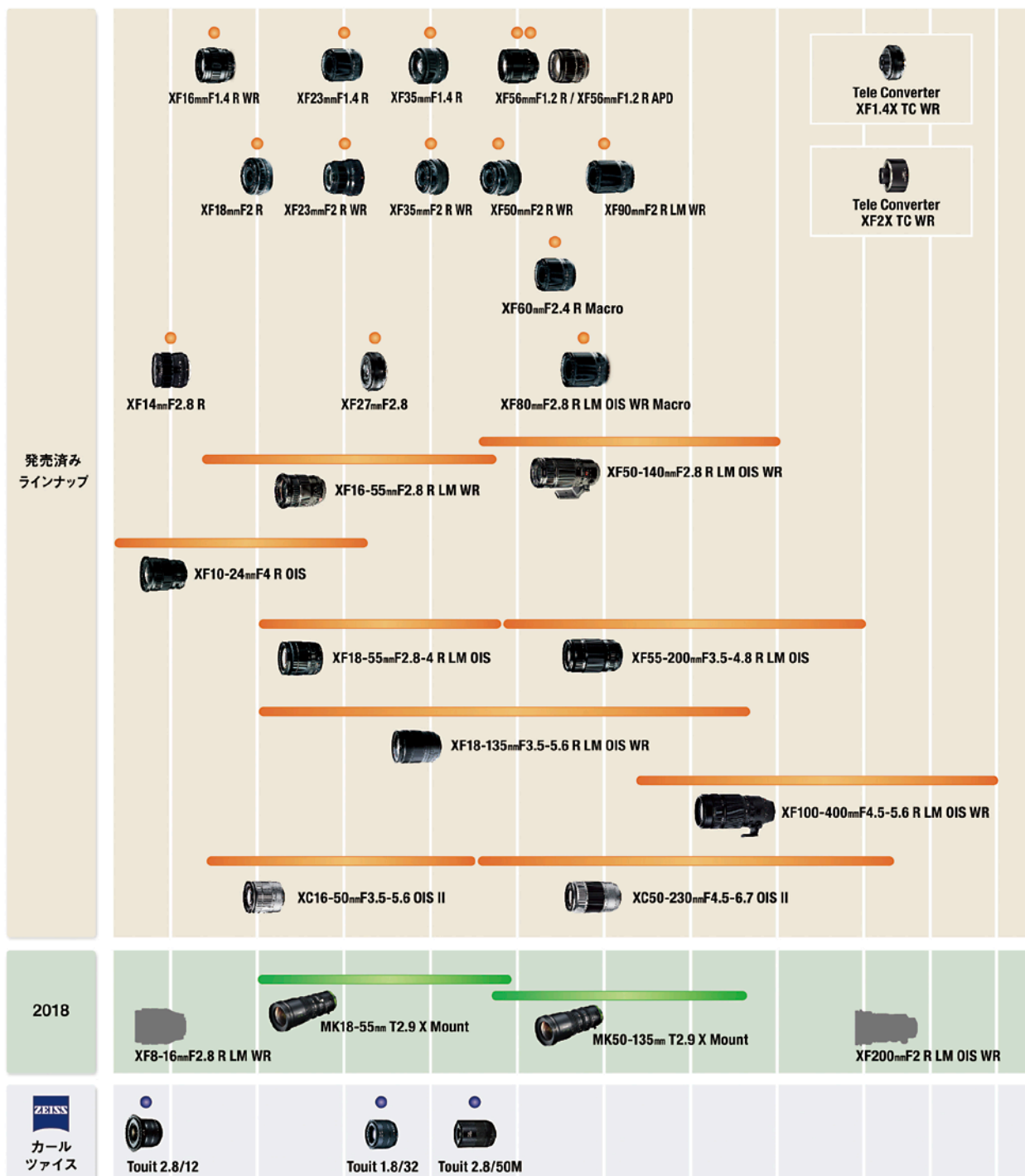
35mm 判換算で12-24mm 相当の焦点距離を開放 F 値 2.8 でカバーした超広角ズームレンズで、広大な風景や夜景、建築物の撮影に最適です。既に発売している「XF16-55mmF2.8 R LM WR」、**「XF50-140mmF2.8 R LM OIS WR」**と合わせて、広角 / 標準 / 望遠の撮影領域においてズーム全域で開放 F 値 2.8 を実現し、幅広い撮影シーンに対応します。

② 望遠単焦点レンズ「XF200mmF2 R LM OIS WR」

35mm 判換算で 305mm 相当の焦点距離を開放 F 値 2 でカバーした明るい望遠レンズで、スポーツ撮影やネイチャーフォト、飛行機や野鳥の撮影に最適です。既に発売している「フジノン テレコンバーター XF1.4X TC WR」、**「フジノン テレコンバーター XF2X TC WR」**の装着が可能で、超望遠レンズとしてもご使用いただけます。

富士フイルムは今後も、レンズラインアップをより充実させて、さらに幅広く撮影領域をカバーしていくことで、多様な撮影ニーズに応えていきます。

10mm (15mm) 14mm (21mm) 18mm (27mm) 23mm (35mm) 35mm (53mm) 56mm (85mm) 90mm (137mm) 120mm (180mm) 140mm (213mm) 200mm (300mm) 300mm (450mm) 400mm (600mm)



- ◎ 最終的な製品外観とは異なります。
- ◎ 上記のロードマップは、2017年9月時点のものです。製品の仕様は、変更となる場合がございます。
- ◎ ()内の焦点距離は35mm判換算の数値です。
- ◎ MKレンズは動画専用レンズです。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

<報道関係>コーポレートコミュニケーション部
 <お客様>富士フィルム FinePix サポートセンター
 「フジノン XF レンズ」スペシャルコンテンツ

TEL 03-6271-2000
 TEL 050-3786-1060
<http://fujifilm-x.com/lenses/>